

市制施行10周年の節目を迎え、これまでの市の歩み、これからのまちづくりについて、横山市長と香川議長が対談しました。

**市長** 新年明けましておめでとうございます。議長は、合併協議の段階から、三豊市の誕生に格別のご苦勞をされ、初代議長でもあるので、この10周年の節目に議長と一緒に振り返ることができて、うれしく感じています。

**議長** 新年明けましておめでとうございます。市長も10年間変わらず、元気にリーダーとして最前線でまちづくりを進めてくれていきます。

市議会を代表して、市長とこの機会に話ができることは感慨深いですね。

### 市民団体の自主的な一体化に三豊市民の心意気を見た

**市長** 7町が対等合併するというのは、全国的に見てもかなり珍しいケースです。対等合併の場合は、あらゆる

旧町単位で設立された「まちづくり推進隊」をはじめ、各種市民団体やNPOがチャレンジをしてきています。

**議長** 海から山まで、すみずみまで大事にしたいという理念に同感します。総合的な発展というのは難しいですが、少し不便でも、そこに暮らしたいという気持ちで大事にするというのが、三豊市の理想です。

歩いていける範囲、お互いの名前を知っている範囲、目の届く範囲の中で安心して暮らしていけるということが、大事だと思います。そのような暮らしを継続するために必要な仕組みづくりについて、行政が一緒に考え、支援することを期待しています。

### まちの宝を見つめ直すことで地方創生に

**市長** 中小企業支援、子育て支援、移住・定住支援な

# 新春対談



三豊市議会議長 香川 努

三豊市長 横山 忠始



ど、将来の若者や三豊で頑張っている事業者を支援するため、市議会からもご理解をいただき、三豊のオリジナリティを誇る施策を実施することができました。

**議長** 地方創生についても、この機会に真剣に見つめ直すという作業が、改めて必要になっていきます。中小企業や個人事業者など、小さい規模でも自立して頑張っている人たちが、これからの市の宝になっていくと感じています。市内には発見できていな

### 将来を担う若者が安心して活躍できる社会づくりを

い宝がたくさんあります。真剣に見つめ直すことで、三豊の宝を発見し、それを大事に育てていくことが、地方創生だと思っています。

**市長** 財政再建については、市民の皆さんのご理解、議会のご協力をいただき、この10年間で第一次財政改革を達成しました。

**議長** 第二次財政改革は第一次財政改革よりはるかに厳しいというのが実感です。限られた財源の中で、次世代に向けた対策、頑張っている若者の背中を押してあげる対策を優先して選択したいと思います。

**市長** 高齢者の福祉を支えていく財源を確保するためにも、若者の将来に投資するという考え方が今後の基準になるのではないでしょ



る場面で、各町の歴史、伝統に対する配慮が重要であると同時に、市民の皆さんの理解と協力が必要不可欠でした。

**議長** 新しく生まれた市とは、前例の無い難しい条件の中で、みんなが知恵を出して進んできたということが重要な点だと思います。

**市長** 新しく生まれた市ということで、新しい可能性があり、新しいことができるという、市民の明るい期待がありました。

その期待に込めていかなければという責任感を感じたことを強く覚えていますが、そこに住む人たちがどうやって一体感を感じていけるのか、不安を感じることもありました。

そんなとき、市民団体がかなり早い段階で自主的に一体化を進めてくれました。例えば、消防団です。各地域それぞれの伝統があり、一体化は難しいと思われましたが、三豊市消防団をいち早く設立されて、「市内で何か起こればみんなで駆け付ける」という気概を見

うか。

**議長** 男女共同参画社会をより発展させて、女性もつと活躍できる社会づくりも必要ですね。

子育て、教育、福祉はもちろん、産業や農業などの分野でも女性の感性が求められています。

幅広い分野で女性の能力が発揮できるよう、社会全体で女性が働きやすい環境づくりを進めるため、行政や議会でも、必要な制度を措置し、古い社会通念を改めていきたいですね。

### 新しいまちづくりに向けた職員の能力向上、議会改革

**市長** 市民活動が活発化してレベルアップしている中で、負けないよう市職員も

せてくれました。このときに、三豊はひとつになれると確信したのを覚えています。

**議長** 市内には旧町単位でたくさんの方がいますが、それぞれの代表者がリーダーシップをとって、市の一体化に呼応してくれました。

合併の苦しさを知る者にとっては、その苦勞が分かるだけに、皆さんの心意気がうれしかったですね。

### 「田園都市みとよ」が目指すまちの姿

**市長** 三豊市は「コンパクトシティ」というスタイルを選挙していません。

人口減少社会への対応や財政的合理性等でコンパクトシティは有効な手法ですが、三豊市は「田園都市」というスタイルで、伝統的なコミュニティを大事にしながら、ゆったり暮らしていくというのを、まちづくりの理想に掲げています。財源が減少する中で、コミュニティを充実させていくのは難しいことですが、能力を上げて、一緒に三豊市を盛り上げていきます。

市職員は知識だけのインテリではなく、いかに市民の中に入って話ができるか、厳しい局面でも交渉を重ねてきちんと納得してもらえかが一番重要ですね。

市民と職員の対話によって、市民参加のまちづくりが進むことが理想ですね。

**議長** 議会としては、市民から信頼される議会づくりを第一に、議会改革を進めていきます。

議員というのは、さまざまな市民の意見を代表する立場ですので、当然市議会にはさまざまな意見が集まります。

議会には行政をチェックするという大事な責任がありますが、それだけではなく、議会に集まった意見を集約し、執行部へ政策提言をするなど、より市民の声を反映させていける議会づくりに取り組みたいです。

**両者** 本年も市民の皆さんのご多幸をお祈りします。